

3 スポーツ施設の利用について

鈴木 雄登 中学生議員
(南中)



【質問】

- ①インターネットで利用状況を確認できるようにしてはどうか。
- ②施設の開館時間や料金などの情報を紹介するポスターやガイドブックを作成してはどうか。

【答】

- ①システム導入費用と運営費用が毎年必要なため、今すぐの導入は難しい。今年の10月から事前予約不要の「一般利用」を小中学生に限定しているの、利用してほしい。
- ②ポスターを作成し、小・中学校の掲示板などに貼っていただく。また、市のホームページに情報を掲載しているが、もっとわかりやすくなるように検討する。

2 税金の使い道について

井上 大暉 中学生議員
(高浜中)



【質問】

民生費に約4割の予算が費やされ、商工費、教育費、土木費の予算が少ない。子どもたちが将来も高浜に住み続けたいと思えるよう、税金の配分を見直してはどうか。

【答】

民生費の約半分は、高齢者・障がい者支援のために使っており、ほぼ同額を保育や子育て応援費用に使っている。少子高齢化の影響は高浜市にかぎったことではなく、民生費は今後も増加する見込みである。
予算の配分にあたっては、今やらなければならないこと、今後必要なサービスを見極め、かぎられた財源の有効活用に努めている。

11 市民意識調査について

酒井 英次 中学生議員
(高浜中)



【質問】

- ①調査後に、市が今後どのように動いていくのかをまとめたものを各校に配布してはどうか。
- ②中学生が意識調査後の市政に参加できる制度を設けてはどうか。

【答】

- ①広報に「中学生の編集ページ」コーナーを設けるなど、調査結果の反映状況を、わかりやすく伝える方法を検討する。
- ②皆さんからのリクエストに応じて、市職員が学校へ出向く「まちづくりトーク&トークin中学校」の実施を検討する。やり方については先生や皆さんと相談しながら決めたい。

中学生議会質問と答弁の概要

6 資源ごみの出し方について

奈良林朋美 中学生議員
(南中)



【質問】

間違えやすいごみの紹介や、ごみ分別のクイズを載せたチラシを南中生が作り、南中の資源回収時に南中生が各家庭に配布してはどうか。

【答】

「ごみ分別便利帳」などを通して、大人への情報提供に努めているが、子どもたちから環境に関心を持って行動し、子どもから大人へ環境を守ることの大切さを伝えていく仕組みづくりが必要と考えている。
提案内容は非常に効果的な取り組みであることから、実現に向けて、いっしょに取り組んでいきたい。

5 防災について

内藤 結花 中学生議員
(高浜中)



【質問】

- ①夏休みなどを利用し、まち協や町内会と協力して、中学校区合同の防災訓練を行ってはどうか。
- ②火事の対処法などを学べる防災教室を実施してはどうか。

【答】

地域で行われている防災訓練では、中学生も防災の重要な担い手として、情報伝達、消火訓練、テント張りなどに参加している事例もある。また、市民団体の企画「子ども防災リーダー養成事業」が今年度から始まった。
提案内容については、今後、関係者と調整しながら進めていきたい。

4 食育について

倉田穂乃花 中学生議員
(高浜中)



【質問】

- ①朝食を大切に考え、楽しく食べられる働きかけとなる歌や体操を募集してはどうか。
- ②市内の飲食店などに協力してもらい、「A(朝ごはん)-1グランプリ」を開催してはどうか。

【答】

市では、さまざまな食育推進活動を実施しているが、提案のあった「モグモグごはん体操」や「A-1 グランプリ」のネーミングと発想は、現在実施している事業の発展につながるものである。
高浜市子ども食育推進協議会に提案内容を紹介し、食育活動や普及啓発に取り組んでいく。